

鷄肉情勢

2025/6/13 更新

全農チキンフーズ(株)

項目

1. 国内

内容

(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年5月末実施)によると、4月の推計実績は処理羽数66,450千羽(前年比103.8%)、処理重量199.4千トン(同101.2%)となった。処理羽数が前月時点の計画値から1.5%の上方修正となった。同調査によると「4月は全体的に堅調、3月は生産成績が落ち込んだという報告が多かった。寒さの影響による増体不良で、農場によって成績のばらつきが大きく、商品化率の低下や工場廃棄が増加した。」と報告されている。
また、5月は前月時点の予測よりも処理羽数が0.1%下方修正、処理重量は0.2%上方修正の見通しである。6月は処理羽数、処理重量ともに前月予測から下方修正され、処理羽数は前年同月比1.5%増、処理重量は同1.5%減の見込みとなっている。7月は処理羽数前年同月比1.1%減、処理重量は同2.0%減の予測。工場の人員不足については外国人技能実習生が都市部への就業に集中しており働き手の足りない産地が多いと報告されている。また、従業員の高齢化もあり人員確保が難しくなっているとの声も聞かれる。副産品(小肉・剣状軟骨など)や機械で加工することが難しい手羽中半割といった加工品の調整を行っている産地もあり、この傾向はしばらく続くと思われる

供給

2. 輸入

内容

(1) 財務省の貿易統計によると、令和7年4月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+5.4千トンの47.7千トン、国別ではブラジルが前月+4.0千トンの30.3千トン、タイが+1.2千トンの16.8千トンとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しでは、輸入量は5月が44.5千トン(前年比83.6%)と減少するも、6月は49.9千トン(同101.1%)と増加していく予測である。要因としては「5月はブラジル産現地価格が高止まりしていることなどを受けて、輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月を大幅に下回る一方、6月はブラジル産の堅調な生産及び輸出を背景に、前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。」と報告されている。
(2) 鶏肉調整品の輸入量は前月から▲0.2千トンの43.3千トンと前月並み。国別では中国が+0.2千トンの16.9千トン、タイが▲0.9千トンの25.0千トンとなった。国内の働き手不足やコロナ禍が明けた影響による外食筋の回復、共働き世帯の増加に伴い中食・総菜向け等の引き合いも継続している。
(3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、4月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で450円/kgから480円/kg(前年加重価格390円/kg)、タイ産が480円/kg(同400円/kg)となっている。2025年5月16日、ブラジル南部リオグランデ・ド・スル州モンテネグロ市の商業用養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生が確認された。ブラジル国内での商業養鶏場におけるHPAI確認は初の事例となる。ブラジル農牧食料供給省(MAPA)は、直ちに当該施設の隔離、飼育鶏の殺処分、防疫措置を実施し、感染拡大の封じ込めを図っている。ブラジルの主な輸出先である中国やEU諸国は、ブラジル全土から一時的に全面停止する措置を発表した。しかし、日本は発生が限定的であることからリオグランデ・ド・スル州モンテネグロ市以外からの輸入は継続している。これ以上感染拡大がない場合は、日本国内のブラジル産の価格には大きな影響はないと予測する。

需要

1. 家計消費

内容

(1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年4月の生鮮肉消費(購入)は数量4,184g(前年比101.1%)、金額6,695円(同105.3%)と、数量・金額ともに前年を上回った。鶏肉は数量1,549g(同102.7%)・金額1,630円(同105.9%)・単価105.2円/100g(前年同月+3.2円)と、数量・金額・単価ともに前年を上回った。また、牛肉は数量は前年を下回ったが、金額は前年を上回る結果となった。輸入牛肉の価格高騰により、数量は前年を下回ったが金額が前年を上回る結果となったのではないかと考える。豚肉は前月に引き続き為替による高値基調により、金額は前月を上回った。調理食品は共働き世帯の増加に伴う需要は底堅いようだ。外食においては、ほぼコロナ禍前の水準程度まで回復したものの、統計外となるインバウンドによる集客もあることからエリア・業態によって濃淡があるようだ。

需要

2. 量販・卸

内容

(1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年4月の食品売上高は全店ベースで前年比105.6%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同103.2%、既存店ベースは同101.6%。畜産部門の売上高は約1,228億円で全店ベース同103.9%、既存店ベース同102.2%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き全般的な相場高が継続、豚肉・鶏肉への需要シフトが続くものの前年比では改善傾向がみられた。牛肉は引き続き厳しい状況が続くが、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが堅調に推移。一部からは週末の焼肉ニーズ、入学式などハレの日関連の販売が好調とのコメントもみられた。豚肉は国産豚の価格上昇もあり、前年不振となった輸入豚が好調となった。鶏肉は価格高騰傾向がみられ、伸び悩んだ店舗が多い。味付け肉や冷凍加工品などが、値ごろ感と簡便性で需要が高まっているとのコメントが多くみられた。」と報告されている。

需要

3. 業務・加工筋

内容

(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和7年4月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比98.5%の5.1千トンとなった。うち国内品は同100.1%の4.3千トン、輸入品については同91.4%の0.9千トンとどちらも前年を下回った。

在庫

1. 令和7年4月

内容

(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の4月末時点推定期末在庫では国産25.0千トン(前年比70.3%)、輸入品127.4千トン(同100.3%)と合計で152.4千トン(同93.8%)となった。

在庫

2. 見通し

内容

(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、4月の出回り量は国産149.3千トン(前年比101.1%・前月差+2.8千トン)、輸入品51.5千トン(同95.3%・同+1.2千トン)の合計200.9千トン(同99.5%・同+4.2千トン)となり、前月からは国産・輸入ともに出回り量は増加した。4月以降の生産量については直近3カ月平均(4〜6月)では前年同月をわずかに上回る予測。輸入量はブラジル産の価格が高止まりしていることから、5月は前年同月をわずかに下回る見込み。6月はブラジル産の堅調な生産及び輸出を背景に、前年同月をわずかに上回ると予測。このことから、期末在庫の部分では5月・6月で減少することが予測される。

相場

1. 令和7年5月動向

内容

(1) 令和7年5月の月平均相場は、モモ肉842円/kg(前月差+43円)・ムネ肉497円/kg(同+53円)正肉合計で1,339円/2kgと前月比+96円、前年同月比+354円となった。㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「気温上昇に伴い、国産生鮮物の荷動きは引続きムネや副産物中心となっている。とくにムネは生鮮、凍結品ともに堅調で、相場(日経加重平均)は20日以降、500円台を付け高止まりしている。モモは静かな商いとなっているものの、相場は下がらず高値を維持している。」と報告されている。

相場

2. 見通し

内容

(1) 生産・処理動向調査によると、5月の生産量は入雛羽数・処理羽数および処理重量とも前年並みに推移する見込みとなっている。鶏肉相場については、4月よりモモ肉、ムネ肉共に急激に上昇している状況である。そのため、GW明けから量販店では国産品も店頭売価を改定したり、輸入品(ブラジル産・タイ産解凍商品)への販売シフトが多くみられてきた。また、国産鶏モモ肉と豚肉との売価が逆転する店舗も見受けられ、今後の需給動向に不安感が出てきている中、安価な国産鶏モモ肉も出回りつつある。このような事を踏まえ今後の相場は、モモ肉は6月以降も需要が回復するまでは右肩下がりの傾向が続き、ムネ肉は需給が均衡している中、500円前後を推移すると予測する。

実績

生産状況

	R6年累計(推計)		R7年4月実績		R7年5月計画		R7年6月計画		R7年7月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	791,537	101.1%	68,091	102.5%	66,188	100.8%	61,085	101.2%	62,628	97.2%
処理羽数	750,759	100.9%	66,450	103.8%	67,122	103.3%	61,694	101.5%	60,153	98.9%
処理重量	2,273.2	101.5%	199.4	101.2%	197.6	100.0%	171.1	98.5%	178.9	98.0%

※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R5年累計	584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R6年12月	49.9	51.0	97.9	45.6	44.3	102.9	95.5	95.3	100.3	52.3	47.7
R7年1月	52.3	54.7	95.6	38.6	35.7	108.2	90.9	90.4	100.6	57.5	42.5
R7年2月	47.7	55.4	86.1	33.8	34.3	98.4	81.5	89.7	90.8	58.5	41.5
R7年3月	42.3	52.7	80.3	43.5	38.3	113.6	85.8	91.0	94.3	49.3	50.7
R7年4月	47.7	52.0	91.7	43.3	44.6	97.0	91.0	96.7	94.2	52.4	47.6

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

鶏肉の消費動向

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年平均	1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5
R6年12月	1,801	1,885	95.5	1,993	1,950	102.2
R7年1月	1,563	1,501	104.1	1,650	1,608	102.6
R7年2月	1,499	1,584	94.6	1,601	1,605	99.8
R7年3月	1,650	1,614	102.2	1,719	1,650	104.2
R7年4月	1,549	1,509	102.7	1,630	1,539	105.9

※参考資料: 総務省統計局HP「家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)」

在庫状況(推定)

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R6年12月	29.6	33.6	88.1	134.9	115.7	116.7	164.5	149.2	110.2
R7年1月	26.3	31.2	84.3	139.2	125.9	110.5	165.4	157.0	105.3
R7年2月	25.7	34.9	73.8	139.2	124.1	112.1	164.9	159.0	103.7
R7年3月	25.8	36.9	69.9	131.2	129.1	101.7	157.0	166.0	94.6
R7年4月	25.0	35.5	70.3	127.4	127.1	100.3	152.4	162.6	93.8

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

出回り量(推定)

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年累計	1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0
R6年12月	155.6	152.7	101.9	54.3	55.3	98.3	209.9	208.0	100.9
R7年1月	142.4	142.5	99.9	48.1	44.5	108.1	190.5	187.0	101.9
R7年2月	137.2	140.8	97.4	47.6	57.1	83.4	184.9	198.0	93.4
R7年3月	146.5	141.8	103.3	50.3	47.7	105.4	196.7	189.5	103.8
R7年4月	149.3	147.8	101.1	51.5	54.1	95.3	200.9	201.8	99.5

※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

相場(月別)

品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0
R5年平均	730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0
R7年2月	744	682	109.1	394	369	106.8	1,138	1,051	108.3
R7年3月	740	661	112.0	392	364	107.7	1,132	1,025	110.4
R7年4月	799	639	125.0	444	356	124.7	1,243	995	124.9
R7年5月	842	631	133.4	497	354	140.4	1,339	985	135.9
R7年6月	(790)	619	127.6	(500)	354	141.2	(1,290)	973	132.6
R7年7月	(760)	613	124.0	(500)	355	140.8	(1,260)	968	130.2

※()は見通し